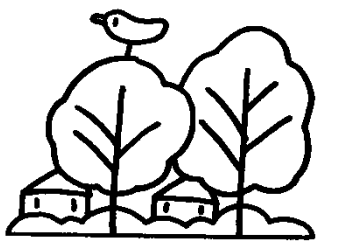


6月22日の選択で問われているのは――

- ① 安倍内閣の暴走に“待った”をかける
- ② くらし第一の市政にきりかえる



市民の思いをハッキリ示しましょう

日本を「戦争をする国」にする

集団的自衛権の行使容認にノーを

どの世論調査でも「反対」が多数。「9条守れ」の声も広がっています。



原発再稼働に反対

福井地裁が、大飯原発の運転「差し止め」を命じました。原発の本質的な危険を指摘した画期的なもので、全国の原発にあてはまるものです。

消費税10%への増税ストップ

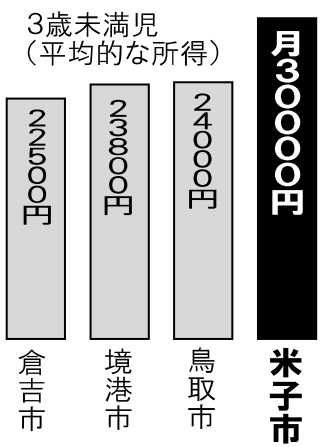
だまっていたら、来年10月には10%にあげられてしまいます。

自民党も公明党も民主党も改憲、再稼働、増税に賛成。歯止めになりません

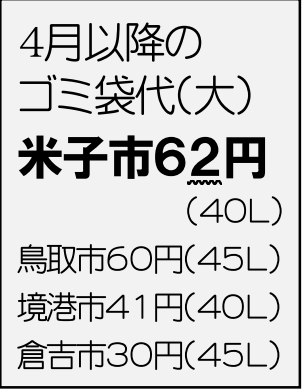
自民、公明、民主がすすめてきた

くらし、子育てに冷たい市政の転換を

県内一高い保育料



ゴミ袋代も県内一

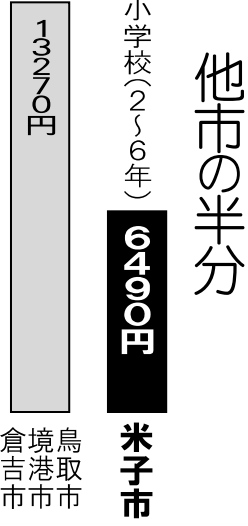


消費税8%への増税後、鳥取市、倉吉市は増税分を「上乗せ」せず、米子市、境港市は「上乗せ」。

重い国保料 4人家族

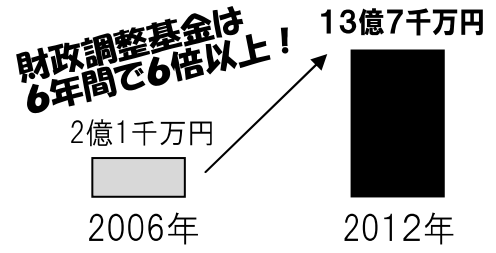
所得200万円超 米子市の国保世帯の88%は、200万円未満です。夫婦と子供2人で所得200万円の世帯では、30万7千円(収入の1.5か月分)になるケースも。

学用品援助は



負担増、ケチケチ市政でためこんだ“貯金”13億円

市が自由に使える「財政調整基金」は、2006年から増え続け、2012年には6倍以上に。



命と暮らしを守るために政治の流れを変えます

介護と国保を毎議会で質問

日本共産党女性現職

明るい米子

2014年6月号外 日本共産党米子市委員会の見解をお知らせします。発行:日本共産党米子市委員会(米子市両三柳811、電話24-4811、28-5436)

日本共産党

日本共産党をのばせば、くらしの願いを実現できます



3議席でめざします

第1子から保育料を半額に

必要な予算は年4億6千万円。県からの補助も実現し、引き下げを。

国保料1世帯1万円の引き下げを

必要な予算は約2億円。県下最多の保険証のとりあげ(556件)もやめさせます。

特養ホームの増設を

米子市の待機者は約700人。介護保険の相次ぐ改悪で、家族の努力は限界です。

住宅・商店リフォーム助成制度を

実施している出雲市では、経済効果が2.3倍に。

水源地への産廃処分場建設の中止を

旧・淀江町の建設予定地の周囲には、水源地が集中しています。



米子市には財源があります

ためこんだ基金の活用などを
具体的に提案しています。

財政調整基金の13億円はじめ、市がためこんでいるお金の一部活用を提案。402億円の「中海架橋」など、大型開発のムタもきびしくチェックします。



“中海圏域一体化のため、いよいよ中海架橋について国・県に要請していくとき”(H25年6月議会・よなご会議)などという他党議員——共産党は市民の立場でしっかりチェックします。

米子市議団には実績があります

主張に道理があり
市民と力をあわせるから
市政を動かせます。

- 中学校卒業まで医療費助成を拡充
- 中学校給食を来年度から実施へ
- 車イスが2台乗れるバスの拡充
- 米子市公会堂の耐震改修を実現

“中学校給食の見通しは低く、実施しない方針を早期に示すべき”(H17年6月議会・しんせい)などといった他党派も、最後には賛成しました。



学校給食—— “おいしい牛乳”復活へ

この春から、給食の牛乳が県内業者から大手企業になり、「おいしくなくなった」という声があがっています。日本共産党市議団は、地元業者のおいしい牛乳に戻すために、市、県にも要請。来年度から復活します。

署名運動にとりくむなど、ねばりづよく実現してきました。